—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊 ポケットあわじ

11月

芸術の秋

アートあふれる淡路島

VOL.244

もくじ
P1 島工房 P2 大浜壁画1・書遊家 岩元祐磨さん・スマホでアート P3 大浜壁画2・あきやま蒲鉾・三原中タイル画 P4 谷口紘也氏・防波堤アート
P5 瓦でアート・コラージュ P6 淡路文化会館・淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

陶芸教室 島工房

心うきうき陶芸体験

神戸鳴門自動車道の北淡インターバス停を下りて育波川を渡ると、柏木工業所の上に陶芸教室「島工房」があります。社長の奥村春菜さんは、高校卒業後沖縄の大学へ入学し、４年間陶芸を勉強した後、大阪の陶芸店で働いたり、神戸の製菓学校で勉強したりした後、６年前（25歳の時）、淡路に帰って来て陶芸教室を開きました。陶芸が大好きで、工房にはいろいろな大きさのシーサーが製作されています。シーサーは中国や沖縄では、オスは口を開けて幸福を呼び込み、メスが口をつぐんで幸福が逃げないようにとどめておくそうです。

社長の春菜さんは、結婚して２歳のお子さんがいらっしゃるので、今までのように陶芸教室は無理で、陶芸体験だけにしています。（必ず電話予約をしてください。）体験される方の90%は観光の方で、島内の人は10%位です。土は信楽焼の土を使っています。今までの体験教室の最年少は３歳児でした。小さい子どもがお茶碗を作ると、とても大切に使うそうです。小さい子どもが作っているのを親が手助けしようとすると、子どもが嫌がります。失敗もあるようですが、一度割れると次から大切に扱うようになります。髪止め、ブローチ、はし置きなど、自分の宝物になるので、出来あがると自信もついて扱い方も丁寧になるようです。　大人の人気は茶碗、はし置き、お皿、ブローチ、お湯のみ、花びんで、最近は台所用スポンジ置きが人気です。陶器はすぐ割れると思いがちですが、それほど心配することはないと、春菜社長が優しくおっしゃってくださいました。私も子どもに戻ったようで、心がうきうきして楽しかったです。　（応援隊：廣岡 ひろ子）

淡路市育波1479 TEL 080-3788-9896

大浜壁画

洲本の大浜公園の南端にある駐車場（通称千畳敷）の壁に、壁画が描かれているのをご存知でしょうか。この壁画は昨年の11月に、地域おこし協力隊のサリー・ハンコックスさんと当時の洲本高校美術部の生徒さん、そしてサリーさんの友人たちにより描かれたものです。高さ約1メートル、幅約80メートルの長い壁いっぱいに描かれています。それまでは灰色だった壁は、緑から黄色そしてピンク色から青色へ変わっていきます。近くに行ってよく見ると、鹿や狸などの動物や鳥、魚、花、それから洲本城などの風景や、高田屋嘉兵衛、タマネギ、ウミガメなどが次々に現れてきます。（P3上へ）

書道教室

「カフェギャラリー遊」

書遊家 岩元 祐磨さん
いわもと　ゆうま

洲本市下加茂

ジャンボ書道

イラストレーター見灯さんとコラボ

2016年兵庫県障害者芸術・文化祭公募展「審査員特別賞」を受賞。翌年の同公募展で「兵庫県議会議長賞」。2021年、洲本市美術展「大歳賞」2022年兵庫県障害者芸術・文化祭公募展「神戸新聞厚生事業団理事長賞」など受賞多数。

カフェギャラリー遊　洲本市下加茂2－2－56　TEL080－2506－2679
【営業時間】月・木・金・土・日…11:30～16:30　【定休日】火・水

書遊家として活動している岩元祐磨さんは、1999年生まれの23歳。祐磨さんが書道を始めたきっかけは、小学4年生の時にクラス全員で大きな紙に大きな筆で書いた「ジャンボ習字」。とても楽しかったそうです。5年生から書道教室に通い、高校卒業後も書道を続け、作品展では数々の賞を受賞。中でも2021年、健常者が目標とする洲本市美術展（市展）で有望作家に贈られる「大歳賞」を受賞するなど、書道で才を発揮しています。また、同年にカフェ「なごみ工房　笑む」（下加茂）で初の個展を開き、書を通じて交友の輪も広がりました。2022年5月からは、お母さんの清美さんが経営するカフェギャラリー遊（ゆう）で作品を展示し、開店前の準備や洗い物などの一役を担っています。

祐磨さんは、とても明るく人懐っこい性格。天真爛漫な笑顔が印象的です。そんな祐磨さんの書は大胆で強さと優しさがあり、独特な味わいが魅力です。ダウン症で聴覚障害があり言葉が不自由な祐磨さんですが、書いた文字から祐磨さんの思いが伝わってきます。

「祐磨は先生や環境に恵まれここまで頑張ってこれました。素敵な出会いや良きご縁に感謝します。」と清美さん。祐磨さんのために始めたカフェギャラリーでは、イラストレーターの見灯（みとも）さんとのコラボも実現。書道以外にも阿波踊りや和太鼓、スイミングなどを楽しんでいるという祐磨さん。お父さんとお母さんの深い愛に包まれながら、これからも大きく羽ばたいてくれることと思います。

（応援隊：瀬戸 由美子）

人生80年としたら、わずか4171週しかありません。年を重ねるにつれ1日があっという間に過ぎ、年が走馬灯のように過ぎ去っていきます。今日の今が一番若い、その輝きの一瞬を自分の伝えたいイメージをシャッターチャンスと画像編集に込めて自分だけのアートを創ってみませんか？　（応援隊：竹代　結）

アーティスティックに明石海峡大橋を撮ってみよう！

Challenge1 道の駅あわじのスライムを印象的に撮影してみよう。

@道の駅あわじ

Challenge2 夕暮れの斜光線を利用して撮影してみよう。

@美湯 松帆の湯

Challenge3 朝焼けの美しい空がバックになるように撮影してみよう。

@道の駅あわじ

（P2から）この壁画を企画されたサリーさんはイギリスのロンドン出身で、2010年に日本の文化などに興味があって来日されました。その後日本人の男性と結婚し、淡路島は暮らしやすそうだし、子育てにいい環境だと思い移住したそうです。洲本市の地域おこし協力隊は今年が3年目で、学生のころからイラストが好きだったことと、若い人達と一緒に大きな壁画を描きたかったことで洲本市の紹介の千畳敷の壁に描くことになり、洲本高校美術部の生徒などと約1ヶ月間かけて壁画が完成したそうです。若い人たちが進学や就職などで淡路島を出ていっても、淡路島のことやこの壁画を思い出し、ふるさとを感じてほしいと話されていました。またサリーさんは「藍染め工房AiAii」の大きな壁画や市民広場のアルチザンスクエアの階段も描いています。皆さんもこの作品「OHAMA HEKIGA（大浜壁画）」をぜひ見に行ってみませんか。

（応援隊：田処　壱久）

彩りゆたかな老舗のかまぼこ　匠の技

蒲鉾 あきやま

洲本市本町１丁目４－５
℡　0799-22-0283

家呑みの時のツマミがこんな匠の技だと、テンションが上がります。見た目も味も抜群な蒲鉾で芸術的な家呑みはいかがですか？

これはあきやま蒲鉾さんのネット販売で、とても人気がある詰め合わせ商品です。匠の技の詰め合わせが満載された、美味しいセットで、トマト入り、ズッキーニ入り、コーン入り、蛸入り、枝豆入り、にミニ竹輪がセットになっています。

あきやま蒲鉾さんは、洲本市本町一丁目で約100年前に、創業者の鯛さんが蒲鉾店を始めました。今は法人で、創業者の孫の鯛裕輔さん(39歳)が代表取締役で製造や配達を担い、そのお母さんの鯛夏江さん(63歳)が販売と事務方を担っています。製造責任者の山本さんの他バイトさんも含め、10人で蒲鉾造りに従事しています。この製造担当さん達と夏江さんとその他の人のアドバイスもあり、この匠のセットが誕生しました。

元々、魚肉練り製品の蒲鉾が専門のあきやま蒲鉾さんですから、蒸板蒲鉾や竹輪、薩摩揚げ等はお手のものです。洲本市内のホテルへ商品を配達するために、製造担当の職人さんは朝の5時頃から仕事を開始します。春休みや夏休みのホテルが忙しい時は、あきやま蒲鉾さんも忙しくなります。あとは、お正月用のお祝い蒲鉾の製造で年末も忙しいそうです。私は子どもの頃に、結婚式の引き出物で寿の文字が入った紅白の蒲鉾を美味しく頂き、嬉しかった記憶があります。

この淡路島の海産物から発展した蒲鉾産業(匠)を末長く継承している(株)淡路蒲鉾あきやまさんです。

（応援隊：田村ひろ子）

南あわじ市立 三原中学校

二〇二〇年度卒業生・美術部共同制作

タイル画　伊達娘恋緋鹿子　八百屋お七

赤・黒・白・青・水色・灰色～わずか1cm四方のタイルで敷き詰められた、縦206cm横126cmのタイル画が飾られているのは、三原中学の玄関ホール。画題は「伊達娘恋緋鹿子　八百屋お七」「淡路人形発祥の地にふさわしい絵を飾ろう」という思いで制作され、2022年3月に完成しました。制作したのは、新型コロナウイルス感染症で、毎日の中学校生活はもちろん文化発表会や体育大会、修学旅行に至るまで、中学校生活のほとんどが非日常だった2020年度卒業生達。卒業を前に何か心に残る卒業生全員による活動を！と当時の美術教師の発案で始められた取組でした。しかし、感染症は治まらず、完成を目にすることなく卒業。取組は美術部が引き継ぐ事となりました。そしてそれからほぼ一年を経てようやく完成。卒業式を目の前に控えた2022年3月、美術部と郷土部共催の「卒業こけらおとし公演」が、タイル画の前で行われました。

制作にあたった美術部現三年生は壁画を前に当時を思い返し、「1cm角のタイルを爪切りのような道具でさらに小さく切ってはめ込む作業は、超大変。間違いが見つかり、かなり広範囲に剥がしてやり直した時は、心が折れそうになった。完成したタイル画が玄関ホールに飾られ、郷土部が『伊達娘恋緋鹿子　八百屋お七　火の見櫓の段』を演じてくれた時はとてもうれしかった。」と語ってくれました。単純計算でも、25,000枚を超えるタイルからできた超大作。中学校内なのでなかなか目にする機会はないかと思いますが、コロナ禍で中学校生活を送った生徒皆さんの力作が紙面で紹介できれば幸いです。

（応援隊：村上紀代美、坂本厚子、川原雅代）

谷口紘也（ひろや）ミニギャラリーを訪ねて

「谷口紘也」（1942～ 2015）の名前は知らなくても、淡路島に住む人なら大きなキャンバスに描かれた淡路人形の作品に出会った事はあるでしょう。淡路島に生まれ、島をこよなく愛し、島の風景と文化を世界に広く紹介した画家「谷口紘也」氏。

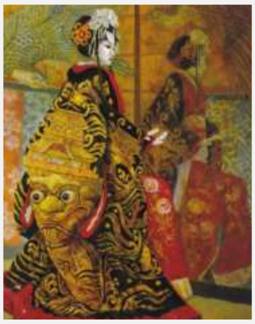
作品がたくさん保管・展示されている「谷口紘也ミニギャラリー」を訪ねました。（南あわじ市阿万）谷口氏が74才で亡くなってから現在一人でここを守っているのは、長年連れ添った奥様の良子さん。2階のギャラリーへ案内していただきました。そこは、かつて谷口氏が制作に励んでいたアトリエ。今はギャラリーとなり、たくさんの絵が展示されています。吹き抜けを囲んだ壁、廊下、そして階段の壁にも、油絵、スケッチ画など、たくさんの絵が飾られていました。

黒地に金糸・銀糸で織られた衣装を身につけて、今にも頭・手足が動きそうな淡路人形「初菊」。国内をはじめ海外の国を訪れ、描いた山や海の風景画。鳴門の渦潮「鳴門岬」や由良の漁港「由良の詩」など、地元の生活感あふれる絵画。絵筆の乾く間もない制作活動だったといいます。それらは島内のあちこちの学校や公共施設に寄贈され、いつでも谷口氏の作品に出会うことができます。

（応援隊：村上紀代美、坂本厚子、川原雅代）

「淡路島のスケッチ」より 黒岩「南淡町灘」

谷口紘也ミニギャラリー　南あわじ市阿万西町１　入館無料 TEL 0799-55-0155　携帯 080-1400-3322
※ 訪問する際は電話で確認をしてから。個人のお宅なので、近所迷惑にならないようにお願いします。



初菊 2012年

由良の詩 1985年

鳴門岬 1984年

JAあわじ島本所ロビーに飾られている作品

静御前と重の井

ここで会える。

淡路人形資料館	太公望と雷神100号 義経千本桜100号
あわじ島農協	静御前と重の井80号 十次郎20号
きとら南あわじ店	戎と三番叟100号
洲本市役所2階ロビー	おわさと弁慶
淡路文化会館講堂	玉藻前旭袂100号
日の出農協	一之谷双葉軍記100号絵本太功記100
慶野松原荘	三国伝来玉藻前旭袂100号 弁慶と初花100号

ながーーーーーーーーーい防波堤アート

南あわじ市阿万海岸

瓦でアート　瓦職人 興津 直子さん

先日NHKの番組で、とある淡路瓦の工場とそこで働く女性の職人が紹介されました。「この間の『サラメシ』で全国に放送されたので、もう後戻りはできませんね。」と笑うのは、株式会社タツミで瓦職人をしている興津直子さん。この工場の社長の奥様でもあります。

瓦づくりを始めて4年。工場の3代目であるご主人と結婚し、16年前に京都から淡路島に移住しました。もともと伝統工芸に興味があったのと、子どもの遊び相手をしつつ工場の作業場を見て回るうちに、自分もやってみたいと思ったのがきっかけだそうです。

淡路瓦に使われる土は、女性の力では固く、いきなり大きなものを作ることは難しいため、最初はペーパーウエイトやコースターといった、小さくて作りが簡単なものから作り始めました。商品化の際は自分で企画を考え社長にプレゼンを行います。そうして通った企画を、社長から職人さんに伝えているそうです。

現在は花瓶やプランターなど、日常生活でも気軽に使える商品を作りながら、大きな瓦のオブジェを制作中とのことです。

（応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代）

お花をあしらった女性らしい作品

株式会社 タツミ
南あわじ市津井９７６
TEL 0799-38-0309

一瞬の想いをコラージュで表現

井宮 安代さん

心いやされる井宮さんの作品展

今年8月1日から同31日までの1か月間、淡路市富島の北淡公民館市民ギャラリーで、井宮安代さん（淡路市里在住）のコラージュ展が開催され、多くの皆さまの目を楽しませてくれました。

約20年前、井宮さんはコラージュ（違った材料に色をつけたり、ちぎったり、切ったりして貼っていく）をしていると、最初に思ったこと、感じたこと、日常に普段通りに感じたこと、楽しいこと、うれしいことなど、何気ない一瞬を言葉にすると、タイトルが先に出て言葉があり、色、形をあてはめると、それぞれの作品になるそうです。

ベニヤ板で作ったパネル、その上に紙を張る、時には下地を塗ってからする時もあり、ふいたり、工具を使って全部手造りでやり通します。色々な材料の木の切れ端を同寸に切って、縦・横の市松模様に組んで張り合わせて、題名は（「ありがとう」つめあわせ）と付けて数枚展示していました。「最初の頃の絵を見ると、震災後だったので色も暗い感じだったと思います。今までの制作を振り返れば、社会も震災の後からまだ立ち直っていないためか、色も暗い感じだった」と静かに話していただきました。

これからもいろいろなことに挑戦して、世界中の人たちが「心のいやし」と、「がんばる」元気をいただきたいと思っています。

（応援隊：廣岡　ひろ子）

淡路文化会館からのお知らせ

＜あなたも淡路生活創造応援隊に参加してみませんか？＞

◎主な活動内容：月刊情報誌生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。
◎主な活動日：毎月最終木曜日の編集会議
（楽しい賑やかな情報交換の場となっています。）
◎会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)
◎募集条件：淡路島内にお住いの方で、生活創造活動に理解のある方ならどなたでもＯＫ

【問い合わせ先】
淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400

淡路について詳しくなりますよ～

淡路文化会館からのお知らせ

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

開運商法トラブルにご注意を！

最近、テレビや新聞で取り上げられることが多くなり全国的に霊感商法や占いサイト等の開運商法について、 相談が増加しています。

【事例】
折込広告を見て、子どものことについて相談に行くと､「霊視の結果、このままでは悪くなるばかりだ。祈祷した方がいい」と振込手続きを急がされ、祈祷料60万円を振り込んだ。その後も何回か振込をしたが、子どもに変化はない。返金してほしい。

【対応策】
様々な口実で不安を煽り、理由をつけ、印鑑、数珠等、高額な商品を売りつけ、祈祷料として料金を請求するのが霊感商法です。
お金を払うことで運が開けたり、幸せになるわけではないことを理解し、きっぱり断るようにしましょう。内容によってはクーリング･オフができる場合もあります。困った時は、最寄りの消費生活センターにご相談ください。

兵庫県淡路県民局交流渦潮室
県民・商工労政課（消費者センター）
☎0799-26-3360　FAX0799-24-6934

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆令和4年度第4回淡路島くにうみ講座

「古代国家を支えた淡路の海人(あま)の営み
～日本遺産に認定された淡路島～」

■講　師　浦上雅史氏(淡路島弁財天厳島神社宮司)
■日　時　12月12日(月)14時～15時30分
■場　所　洲本市文化体育館　1階 会議室
■内　容　島内各地に残る文化財から 見えてくる淡路の海人の具体的な姿についてお話しいただきます。
（申込フォーム⇒）
■定　員　150名(無料)
※要事前申込　締切:12月2日(金)

☆第11回淡路花祭 フォトコンテスト作品募集

淡路島の魅力を伝える花にちなんだ写真作品を募集します。
■募集〆切　2023年6月9日(金)当日消印有効
■テーマ:　①人･花部門　　②花の札所部門
■対象写真:令和4年6月～令和5年5月の期間内に、淡路島内で撮影された写真
■応募資格:プロ･アマを問わず応募可能
詳しくは協会HPをご覧ください⇒

申込・問合わせ先：（一財）淡路島くにうみ協会
電話：0799-24-2001 FAX：0799-25-2521
Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp
URL　　：https://www.kuniumi.or.jp

インフォメーション

ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いします。

◆洲本市文化体育館

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 F 0799-25-3325
休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

第74回 洲本市美術展

日本画・洋画(版画)・書・彫塑・工芸・写真の6部門を対象とした公募展
日 11月2日(水)～11月6日(日)
9:30-18:00　最終日16時まで
会 会議室1A・2C　Cアリーナ(表彰式)
¥ 無料
問 洲本市教育委員会生涯学習課
☎0799-22-3321(代)

令和4年度 防火ポスター展

島内３市の小・中学生の防火ポスター作品展
日 11月9日(水)～11月14日(月)
会 エントランス
¥ 無料
問 淡路広域消防事務組合 予防課
☎0799-24-2410

兵庫県中学校総合文化祭

淡路地域の中学生による書写・美術作品の展示
日 11月19日(土)～11月20日(日)
会 エントランス
¥ 無料
問 洲本市造形教育連盟
担当:安乎中学校　不動校長
☎0799-28-0011

第53回洲本市小中学校造形展

洲本市の小中学生と淡路特別支援学校の生徒による作品展
日 11月20日(日)～23日(水祝)
10:00～19:00 初日13時より
最終日16時迄
22日(火)休館日
会 会議室1A
¥ 無料
問 洲本市造形教育連盟
担当:安乎中学校　不動校長
☎0799-28-0011

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001　F 0799-62-6465
Mail : info@shizukahall.com
休 火曜日

夏井いつき 句会ライブ

日 12月4日(日)
開場：13：15　開演：14：00
¥ 前売券 2,500円（税込）
当日券 3,000円（税込）
※全席指定席　※未就学児童入場不可
【チケット販売】淡路市立しづかホール・淡路市立サンシャイホール・洲本市文化体育館・ローソンチケット
詳しくはしづかホールのホームページをご覧ください。

神楽道ー神楽健康教室ー

初めての方も大歓迎！ 柔軟、ツボ押しなどの健康法・すり足などの基本所作・神楽舞実践稽古・古典的作法の指導・講和など。ご興味のある方は是非、体験してみてください。
【講師】表　博耀（オモテ　ヒロアキ）
日本国エンターテイメント観光大使・創生神楽宗家
日 11月10日(木)　17:45～19:45
会 しづかホール　リハーサル室
¥ 1,500円（月1回）（初回体験500円）
【対象】幼児～（年齢制限なし）
【服装】軽い体操のできる服装でお越し下さい。

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
☎ 0799-74-0250 F 0799-74-0256
時 10:00～18:30
休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

サンシャインホールでスタインウェイを弾いてみよう！

～コンサートホールで
ピアノ練習しませんか♬～

日 11月20日(日)、12月4日(日)
11:00～18:00(60分/1区分)
¥ 1区分・1人　1,000円
1人２区分まで連続利用可
問 淡路市立サンシャインホール
※前日までの申し込みが必要です。
お気軽にお問合せください。

◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 F 0799-52-3072
Mail ： awajiningyo@gmail.com

定 時 公 演

福を授けます　戎舞　　引き裂かれる親子の情愛　阿波十

11月1日(火)～8日(火)、11日(金)～13日(日)　、20日(日)～29日(火)
「バックステージ」「人形解説」・「戎舞」
時 10:00～、15:00～
「人形解説」・「傾城阿波の鳴門　順礼歌の段」
時 11:10～、13:30～
¥ 大人　1,800円 中高生1,300円
小学生1,000円 幼児　300円
11月10日(木)、14日(月)～19日(土)
「バックステージ」「人形解説」
時 10:00～、11:10～、13:30～、15:00～
¥ 大人　500円 中高生　400円
小学生　300円 幼児　100円
※上演内容は変更になる場合があります.

淡路人形座へご来座されるお客様へのお知らせとお願い

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。
〔臨時公演〕
※30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。(15日前までの事前予約が必要です。)
時9:00、16:00
【11月の休館日】 2日(水)、9(水)、16日(水)、24日(木)、26日(土)、27日(日)、30日(水)

◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎ 0799-24-4450　F 0799-24-4452
休 月曜日休館　時 9:00～21:00

第3回すもと文化展

【作品展示】11月19日（土）９：00～
11月20日（日）16：00
洲本市文化協会主催の作品展です。
¥ 観覧無料
問 洲本市民交流センター
☎0799-24-4450
URL http://www.sumoto-ccc.info/

インフォメーション

ご　注　意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いします。

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
☎0799-85-1391　F 0799-85-0400
時 9:00～17:00　¥ 観覧無料

今月の美術展示

〔淡路津名アートクラブ作品展〕

「淡路津名アートクラブ」会員と招待作家の作品展示です。個性的な作品がそろっています。
日 11月2日(水)～11月14日(月)
時 9:00～1７:00
会 美術展示室

〔２０２２淡路市人権尊重ポスター・標語入選作品展〕

淡路市2022年度人権尊重ポスター・標語の入選作品を展示します。作品を通して、人権の啓発活動を推進したいと考えています。
日 11月14日(月)12:00～11月25日(金)14:00
時 9:00～1７:00
会 県民ギャラリー

〔甚尾こころ･田中幹人写真展　「Sweet Selfie〕

鍼灸師の田中と写真家の甚尾の自撮り写真の作品展です。二人がモデルとなり、共に趣味であるカメラ撮影を淡路島で楽しんでいます。
日 11月17日(木)10:00～11月24日(木)16:00
時 9:00～1７:00
会 美術展示室

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

令和4年度　松帆銅鐸秋季特別展 「銅鐸への序曲－鈴から鐸へ－」

弥生時代に銅鐸がつくられだす以前に古代中国や朝鮮で使われていた青銅楽器を展示紹介し、銅鐸の起源を探ります。松帆銅鐸全７点も展示しています。
日 9月14日(水)～12月4日(日)
¥ 入館料
大人500円、高大生300円、小中生150円
※ 小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」利用可で入館無料
時 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 月曜休館（月曜日が祝日の場合は翌日）
問 詳しくは玉青館まで
☎0799-36-2314

〔津名フォトクラブ展 〕

津名フォトクラブ会員の作品発表です。今回のテーマは「階段」です。
日 11月26(土)～12月9日(金)16:00
時 9:00～1７:00
会 美術展示室

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎ 0799-74-1200 F 0799-74-1201
時 10:00～18:00 (最終入館は閉館の30分前まで)

イルミネーションイベント ★光と花のウィンターガーデン

日 11月19日(土)～2023年1月15日(日)
時 10:00～18:00
¥ 〈入館料〉
一般1,000円
高校生以下無料
70歳以上500円
※70歳以上は、生年月日記載の証明提示

ジャンボペーパーフラワーづくり

日 11月3日(木・祝)
¥ 参加費500円
※別途入館料必要

奥田とみよ先生のプリザーブドフラワーアレンジ教室 ★人気の即売コーナーも！★

日 11月3日(木・祝) ～1１月6日(日)
¥ 2,300円～※体験する花器により異なる。※別途入館料必要

編集だより

『芸術の秋』澄んだ空気・水・色づく木々身辺のものすべてに『美』を感じる今日この頃です。
この『美』をいかに表現するか。表現は生きる力と言われます。
今月の特集を機に『美』の世界に挑戦してみませんか。

《応援隊　米田静子》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願いします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。
なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊　淡路文化会館　淡路文化会館運営協議会
〒656-1521淡路市多賀600
☎0799-85-1391　F 0799-85-0400
E-mail：a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
H　P　：https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

今日も　楽しい　おつきあい　淡路信用金庫

夢あるくらしのパートナー　淡陽信用組合

一般財団法人　淡路島くにうみ協会　Awaji Island Kuniumi Association